

米国ボストンにライフサイエンス企業を派遣!!

ボストン市及び周辺地域は世界の製薬大手トップ20社のうち13社が研究開発拠点を構え、ライフサイエンス系スタートアップ企業が次々と生まれる世界最大級のエコシステムとなっています。ジェットロ京都では4月23日から25日の日程で、京都のライフサイエンス企業6社と共に現地を訪問、地元企業との交流を通じた京都企業の海外展開を支援しました。

派遣企業によるピッチ及び現地企業とのネットワーキング

ライフサイエンス分野の現地企業に向けて、派遣企業による英語でのピッチ及びネットワーキングを2日間にわたり実施しました。2日目には京都企業に加え、地元企業からピッチを行い、双方、自社の製品や事業及び研究内容についてアピール。ピッチ後のネットワーキングでは、今後の事業連携について個別に話し合いなどが行われました。現地企業の中には京都でのビジネス展開に関心を寄せる企業も見られました。



ピッチの様子



ライフサイエンスフォーラムの様子

ライフサイエンスフォーラム開催

京都市とボストン市は姉妹都市として、今年で60周年を迎えます。それを記念して、ボストン市の主催でライフサイエンスフォーラムが開催されました。同フォーラムでは、MIT出身のノーベル賞受賞者や、ベンチャーから巨大企業へと成長した経営者の講演に加え、京都市の門川市長が出席し、京都市のビジネス環境についてトップセールスを実施しました。ジェットロ京都からは、各派遣企業の紹介を行うとともに、同フォーラムの参加者に京都でのイベントへの参加を呼びかけました。



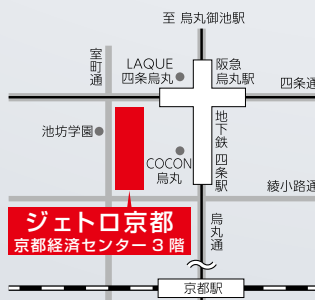
インキュベーターの視察

インキュベーターを視察

多くのスタートアップ企業が集積するボストン市には、インキュベーターが数多く存在します。インキュベーターとは「創業初期段階の企業の活動を支援する事業者、施設」のことを指し、今回複数のインキュベーターの視察を実施しました。これにより、実際にインキュベーターにて研究開発に専念する研究者を目的に、その役割や必要性について改めて認識する機会となりました。

ボストン市概要

米国マサチューセッツ州の州都で、北海道函館市とほぼ同じ緯度にある港湾都市。ニューイングランド地方最大の都市で、商業・金融・文化の中心地となっている。面積は232.1km²で人口は60万人超と、比較的にコンパクトな都市であるが、その歴史は1630年に始まり、ボストン茶会事件などアメリカ独立運動関係の史跡や文化施設が多数存在する。ボストン大学のほか、郊外にハーバード大学、マサチューセッツ工科大学を擁し、経済だけでなく学術面でも知られる。前述のとおり、京都市と姉妹都市60周年を迎え、これまで様々な交流が行われている。



【問合せ先】
日本貿易振興機構(JETRO)
京都貿易情報センター

JETRO

所在地 / 〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地
京都経済センター 3階308号室

T E L / 075-341-1021 FAX / 075-341-1023

E-mail / KYO@jetro.go.jp

U R L / <http://www.jetro.go.jp/indexj.html>